

フローリング メンテナンス方法

日常のメンテナンス

- 柔らかな布で拭きしてください。ウレタン系塗装品(UVナチュラルコート塗装品を除く)や水性ラッカー塗装品は、かたく絞った布でのお手入れも可能です。水拭きは、フローリングの毛羽立ち、変色、反り・曲がりなどの原因となるため避けてください。
- フローリングに水分が付着した場合は、すぐから拭きしてください。放置するとシミになります。
- 化学モップは、水拭きの場合と同様の不具合を引き起こすことがありますのでご注意ください。
- 汚れなどがひどい場合は、それぞれの塗料メーカーが推奨するクリーナーを使用するか、下記の方法で対処してください。

オイル塗装品…………… サンドペーパーで軽く削って汚れを取り除いてから、その部分に再び塗装をしてください。

ウレタン系塗装品… 中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使い、かたく絞った布で拭いてください。(UVナチュラルコート塗装品は柔らかな布で拭きしてください。)

水性ラッカー塗装品… 油性ペンなどによる汚れは、消しゴムで消すか布にベンジンをつけ手早く拭いてください。

無塗装品…………… サンドペーパーで軽く削って汚れを取り除いてください。

特に汚れなどがひどい場合は、下記の専門業者にお問い合わせください。

(株)バーンリペア
 東日本受注センター TEL:(03)5227-1301
 西日本受注センター TEL:(06)6990-1361
<http://www.burn-repair.co.jp>

定期的なメンテナンス

- ご入居後、定期的に再塗装またはワックスがけのいずれかを継続しておこなうことにより、フローリングの表面を保護しより長持ちさせることができます。必要に応じ、再塗装またはワックスがけをおこなってください。(ご使用状況などにより異なりますが、約1年ごとが目安です。)
- 原則として、再塗装とワックスがけを交互におこなうことはできません。初回メンテナンス時に選択したいいずれかの方法(再塗装またはワックスがけ)を定期的におこなってください。
- 再塗装にはフローリングに塗装されているものと同じ塗料を使用してください。
- ワックスがけをするとフローリングに光沢が出ますのでご注意ください。
- 再塗装またはワックスがけの際は、ちり、ほこりをきれいに取り除いた上で、適切な塗料やワックス(下表を参照)を薄くムラなく塗ってください。適切でない塗料やワックスを使用したり多量にまき散らして使用すると、フローリングの品質を著しく損なうことがありますので、絶対にしないでください。

(推奨塗料・推奨ワックス)

フローリング種別	推奨塗料とお問い合わせ先(再塗装を選択する場合)	推奨ワックスとお問い合わせ先(ワックスがけを選択する場合)
エコプレーゼ (LIVOSオイル塗装品)	商品に塗装されているものと同じLIVOSオイル塗料 ※ (株)イケダコーポレーション 東京 TEL:(03)3544-4453 FAX:(03)3544-4450 大阪 TEL:(06)6452-9377 FAX:(06)6452-9378	「グラノス」 (株)イケダコーポレーション 東京 TEL:(03)3544-4453 FAX:(03)3544-4450 大阪 TEL:(06)6452-9377 FAX:(06)6452-9378
OSMOオイル塗装品	商品に塗装されているものと同じOSMOオイル塗料 ※ オスモ&エーデル(株) TEL:(0794)72-2001 FAX:(0794)72-2000	「オスモ ワックスアンドクリーナー」 オスモ&エーデル(株) TEL:(0794)72-2001 FAX:(0794)72-2000
KLUMPPオイル塗装品	「天然植物OILワックス クランブオイル」 旭興易(株) TEL:(052)389-3688 FAX:(052)389-3644	「天然由来の成分だけを使った床ワックス」 (株)リンレイ TEL:(03)3541-5955
春風オイル塗装品	商品に塗装されているものと同じ春風オイル塗料+「701 クリヤー」 サンユーペイント(株) TEL:(06)6392-0151 FAX:(06)6395-1171	「701 クリヤー」 サンユーペイント(株) TEL:(06)6392-0151 FAX:(06)6395-1171
WOCAオイル塗装品	「大和屋インテリアオイル ナチュラル」 大和屋(株) TEL:(048)526-1008	「大和屋インテリアクリーナー」 大和屋(株) TEL:(048)526-1008
その他オイル塗装品	—	「天然由来の成分だけを使った床ワックス」 (株)リンレイ TEL:(03)3541-5955
ウレタン塗装品 UVハードコート塗装品	—	「ノンブライト」(低光沢) 「ハイテクフローリングコート」(高光沢) (株)リンレイ TEL:(03)3541-5955
UVナチュラルコート塗装品	—	「ノンブライト」 (株)リンレイ TEL:(03)3541-5955
Sコート塗装品 Tコート塗装品	—	ワックスがけ不要
ウレタン(Bona社)塗装品 (オーク三層・ブラックチェリー三層・ メープル三層・ケンバス三層)	—	「Bonaポリッシュ」 (株)オカベ TEL:(0763)52-4069 FAX:(0763)52-4038
水性ラッカー塗装品	—	「つやピカ透明クリーナー」 (株)リンレイ TEL:(03)3541-5955
無塗装品	—	「天然由来の成分だけを使った床ワックス」 (株)リンレイ TEL:(03)3541-5955

※は、商品に塗装されている塗料の色番を弊社にご確認のうえ、上記のお問い合わせ先にご連絡ください。

wood Do?

直貼り用フローリング

施工要領とメンテナンス方法

フローリング 施工要領

※施工前に必ずお読みください。

無垢素材商品のため、空気中や床下からの湿度の影響を受け、木材が有する水分の吸排作用によって膨張・収縮する特性を持っています。施工の際には、下記の施工要領をお守りください。

1. 施工前に確認

- 内装用ですので、外装には使用しないでください。
- 床暖房には床暖房対応商品をご使用ください。
ただし、床暖房対応商品でも一定の膨張・収縮は生じます。
- 床下のコンクリートは含水率が10%以下になるまで乾燥させてください。
換気口は十分に設置して、風通しを良くしてください。
床下に湿気がこもると、施工後に反り・曲がり、突き上げ、床鳴りなどが発生する恐れがあります。
- 雨風が吹き込むことのないよう、サッシなど開口部の取り付け後にフローリングを貼ってください。

2. 下地の確認

- 下地のモルタル面は平滑に仕上げてください。部分的なモルタル面の凹凸（不陸）、割れ、欠けは補修モルタルで修正してください。
- 石膏系のセルフレベルラーは使用しないでください。接着不良の原因になります。
- モルタル系のセルフレベルラーを使用した場合は、表面のエフロ（粉が凝縮したもの）を完全に除去した後、施工を行ってください。
- モルタル下地面に、油分、水漏れ等がある場合は接着できません。
- モルタルとスラブ全体を十分に乾燥させてください（含水率10%以下）。特にピット等がなく地面に接する1階の床については、防水シートや防水コンクリート等による地中の湿気・水分を遮断する処理が必要になります。
- モルタル表面が乾燥していても、スラブの深部に多量の水分が含まれている場合が多いので注意してください。
- 1階土間コンクリートに施工する場合は、地面の湿気（水分）が永久的に上がってきますので、防湿コンクリートを使用して下地に防湿シートを敷くなど、防湿処理を完璧にしてから施工してください。
- モルタルが一度乾燥しても、雨による冠水、漏水、石材工事のモルタル配合水など、何らかの水分が加わる場合がありますのでご注意ください。
- フローリング割り付けの前にモルタル表面の清掃を、掃除機で必ず行ってください。
- 石材、框、見切り材等の納まりには、エキスパンションゴムや、シリコン層を設けることをお勧めします。
- 10m以上の大きなスパンに施工するときは、エキスパンションゴムや、シリコン層を設けることをおすすめします。
- 巾木は後付けとし、壁との納まりには巾木の下に5～7mmの隙間をとってください。

3. 仮並べ

- 開梱した状態で放置し、施工現場の環境に十分なじませてから貼ってください。
ただし、針葉樹フローリング、桐フローリングは、開梱後長時間放置すると反り・曲がり、表面割れなどが発生する恐れがありますのでご注意ください。
三層フローリング、複合フローリングは、開梱後そのまま施工いただけます。
- 無垢素材商品ですので、施工時に一定程度のハネ品が出ます。あらかじめご了承ください。
- 色合いや木柄などが一枚一枚異なります。貼り始める前に仮並べをし、色や柄のバランスをとって全体の品質を確認いただいた上で貼ってください。
極端に色や柄などがおかしいもの、その他商品に関してお気づきの点があれば、必ず貼る前にご相談ください。

施工後の返品・交換には応じかねます。

4. 貼り込み

- 接着剤はエポキシ系直貼用をご使用ください。（LL45防音フローリングはウレタン系直貼用になります）
- ご使用になるエポキシ系接着剤の使用説明書をよく読んで施工してください。
- 接着剤は必ず可使時間を確認して、その時間内に貼り込める面積内でモルタルに塗布してください。風のある場合、気温や湿度が高い場合は、可使時間がさらに短くなりますのでご注意ください。
- 接着剤をモルタル面に塗布する前に、モルタル表面を掃除機等で清掃してください。ちりやほこりがあると接着不良の原因になります。
- 寸法調整は、出入口を避けた反対側の壁際で行ってください。
- フロアー上面をゴムハンマーで叩き、接着剤とフロアーをよく密着させて、さらに手でも押し付けて貼り上げてください。
- フロアー貼り上げ後、加圧養生のため、加圧が不安定な部分、特にジョイント部分は10kg程度の重りを置いてください。
- 湿気による床材の伸縮に対応するため、フロアー間に0.5mm程度の隙間を開けて施工してください。
- 広いホールなどに施工する場合は、できる限り多く隙間を設けてください。
- 接着剤の塗布量が多すぎると、ジョイント部分から接着剤があふれてフロアー表面を汚す場合があります。必ず同梱のクシ目ゴテを使用してください。
- エポキシ系接着剤がフロアー表面に付着した場合は、速やかに灯油を含ませた布で拭きとってください。接着剤が硬化すると取れなくなります。

5. 養生

- 接着剤が硬化するまで（施工後24時間）は、養生シートをかけないでください。
 - 接着剤が硬化するためには静止養生が必要になります。養生中はフロアーの上に乗ったり、歩いたりしないでください。接着不良の原因になります。
- ※冬期は硬化に時間がかかりますので、静止養生の時間を長くとってください。